

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



気象変動の激しかった今夏



- 甲府における今夏の平均気温は7月 26.3℃(平年値 26.0℃)、8月 27.0℃(平年値 27.1℃)と月単位では平年と大差ありませんでした。
- しかし、期間を区切ると、7月16日の梅雨明けまでは曇雨天が続きました。その後は晴天が続き、最高気温が35℃を超える暑い日が続きました(図)。
- 一転して8月10日頃から20日すぎまでは、再び曇雨天が続き、その後は晴天日でした。
- 連日、降雨が続いた時期は晩腐病や裂果が発生し、糖度上昇や着色は停滞しました。
- 10~30日程度の中期的な期間を単位として気象が移り変わるの最近の気象変動の特徴です。病害防除の徹底や日頃の排水対策等が重要です。

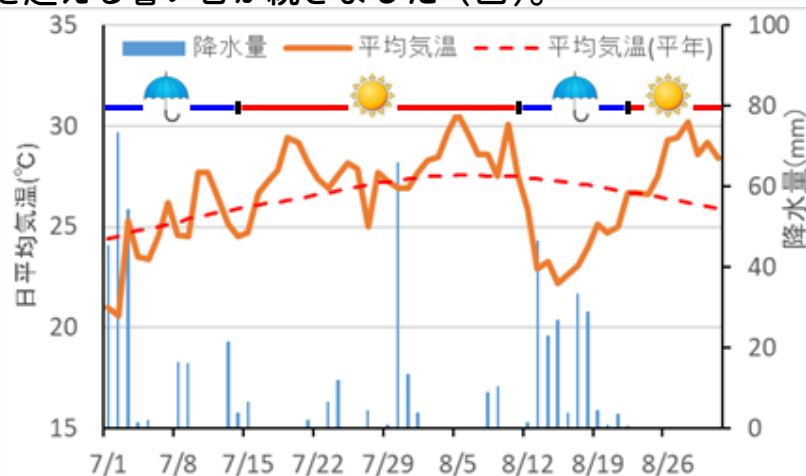


図 本年7~8月の気象(甲府)



農薬有効期限が近づいたら



- 農薬の袋やボトルには最終有効年月が表示されています(図)。これは農薬が時間の経過などにより変性するため、農薬製造会社が農薬取締法に基づき最終有効年月を定め農薬の品質を保証する期間です。
- 使用する農家は、法を順守するだけでなく、確実な防除効果を得るといふ点からも最終有効年月を守らなければなりません。
- 農薬は農薬年度(10月から翌年9月まで)にしたがって流通しています。このため多くの農薬の有効期限は農薬年度の最終月の翌月の10月となっています。
- この機会に保有する農薬を確認し、最終有効年月を過ぎる場合は、JA等指導機関に相談し産業廃棄物として適正に処分しましょう。

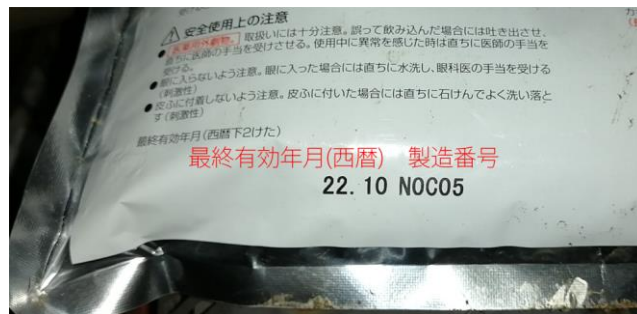


写真 農薬の有効期限表示